

2019年(令和元年)12月5日(木曜日)

大阪市水道局で工法説明

アイスピグ
近畿地域協会 維持管理の充実へ

アイスピグ近畿地域協
会(会長＝藤野正勝・藤
野興業社長)はこのほ
ど、大阪市水道局体験型
研修センターで、局職員

向けに「アイスピグ管内

洗浄工法」を説明する研

修会を行った。参加した

30人の職員に対し、座学

と実演で工法の特長を説

明した。同局では、今後

の配水管の洗浄工法につ

いて調査検討を進めてお

り、全国で配水管を含め

170件近く実績を重ね

ているアイスピグ工法に

注目している。

研修では、実演に先立

ち、同局工務部配水課の

中井隆・担当係長による

各種管内洗浄工法の比較

と、藤野興業の担当者に

よる座学でのアイスピグ

洗浄工法の手順と特長の

説明があった。

実演は、管の内部が見

えるように、屋外に設置

したクリア管(模擬管

路)を用いて行われた。

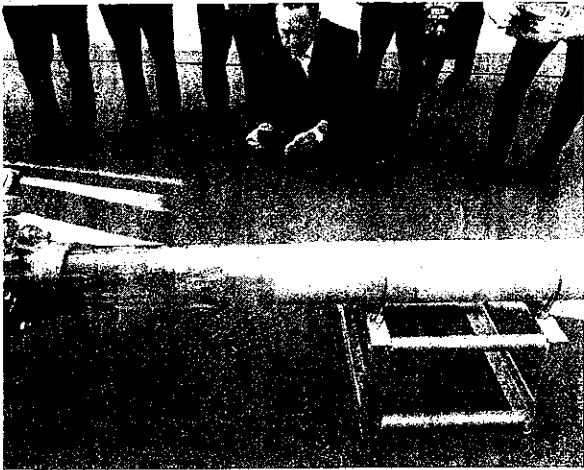
参加した職員は、洗浄に

用いる特殊アイスシャー

ベットを触って冷たさを

体感し、アイスピグが夾雑物を一気に包み込んで運搬・排出する様子に感心している様子だった。実演後の質疑応答では、実践的な内容の質問も多くあり、活発な意見交換がなされた。

中井係長は、「アイスピグが砂などの夾雑物を包み込んで押し出す様子を見学させていただき、高い洗浄効果に驚いた。人体に無害な特殊アイスシャーベットを使用しており、管に詰まるリスクもなく、安全・安心な洗浄技術だと思う。こうした現場に応じた最適な洗浄技術により、管路更新までの維持管理の充実につなげていきたい」と話し、効果を高く評価している。



模擬管路を用いた洗浄実演